

チェックリスト⑤

【視点5】非日常時の建物サイン・・・非日常時に建物サインが十分に機能するか

項目	チェック内容	参考例
非日常時を想定した日常の維持管理	<input type="checkbox"/> 災害時の避難方法などについて、建物利用者が普段から把握できるようなサインがある <input type="checkbox"/> 災害時のサインの使い方や機能について、建物管理者等が職員などに周知している <input type="checkbox"/> 建物利用の制限や不特定多数の建物利用がある場合の建物利用者への情報伝達方法を建物管理者等が職員などに周知している 例) 工事時やイベント開催時、など <input type="checkbox"/> 災害時以外の安全確保に係る建物利用者への情報伝達方法を建物管理者等が職員などに周知している 例) 急病や犯罪発生時、など	●避難口に係る建物サインの例 (p27)
非日常時の対応	<input type="checkbox"/> 複数の情報伝達方法により災害の発生や避難方法を知らせる (音、光、振動、など) <input type="checkbox"/> 消防活動時に、避難完了を確認する情報伝達を行う 例) 扉へ「避難完了」チョーク記入、など <input type="checkbox"/> 工事やイベント時などに規制サインを掲示する	

●避難口に係る建物サインの例

○避難口に係る建物サインのデザインは、「避難口であることを示す図記号 (人の図柄)」「避難口であることを示す文字 (非常口・EXIT)」「避難の方向を示す矢印」の3つの組み合わせで構成され、消防法関連規定等 (※) に基づき設置されています。

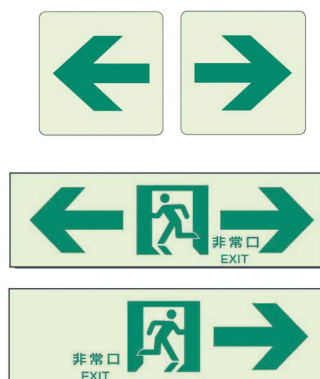
(※) 消防法施行規則 第28条の3第3項第1号ハ及び第4項第10号並びに第6項誘導灯及び誘導標識の基準 (平成18年消防庁告示第5号) など

【避難口誘導灯・避難口に設ける誘導標識の例】



緑色の地で避難口であることを示す。

【通路誘導灯・廊下又は通路に設ける誘導標識の例】



白色の地で避難口の方向を示す。